



石井病院

じんけいクリニック

Now Vol.126

- Since 2008

JINKEIKAI NEWSPAPER

発行：2018.9


**石井病院 内科部長 小原 一郎 「第47回明石・西神戸透析懇話会」について**

2018年7月28日（土曜日）にシーサイドホテル舞子ビラ神戸において 上記懇話会が開催されました。

当日は 兵庫医科大学 名誉教授 住吉川病院 名誉院長 中西 健先生をお迎えし『CKD（慢性腎臓病）患者における鉄の重要性』と題して講演が行われました。

私は世話人会に所属しており、司会を務めました。

## 【講演内容】

鉄の代謝 健康人の体内に存在する鉄は約3-4gで、ヘモグロビン鉄や貯蔵鉄として分布しています。

鉄の吸収と喪失：鉄は1日の食事中に約20mg含まれており、そのうち約1mgが十二指腸から体内に吸収されます。これにより消化管や皮膚の上皮細胞の脱落による鉄の喪失（約1mg/日）を補っています。

フェリチン（Fn）：Fnとは、アポフェリチンという蛋白質とFe<sup>3+</sup>からなる水溶性蛋白質です。Fnは鉄をほとんど含みませんが、体内の貯蔵鉄量を敏感に反映するので鉄欠乏の検査マーカーとして用いられます。

鉄の体内動態：半閉鎖系を保持しており、Hb（ヘモグロビン）合成に利用される20mgの鉄はその大部分が寿命により破壊された赤血球に由来します。

ヘプシジン：細胞内の鉄は、鉄輸送膜蛋白であるフェロポルチンを介して血清に供給されており、その機能は肝で産生されるヘプシジンにより制御されている。

ESA（エリスロポエチン）投与で目標Hb値が維持できない患者において鉄補充療法が必要である。



（講演会場の様子）

以下 1,2.の場合

- 1.鉄利用率を低下させる病態が認められない場合
- 2.血清Fn値が100ng/ml未満 またはTSAT（トランスフェリン飽和度）が20%未満の場合

ミルセラ<sup>R</sup>（持続型ESA）は 1回/2週間 投与が望ましい。  
Hbサイクリング（Hbの変動）は予後を悪化させる。

透析時は、適切に鉄管理とESA投与を行うことが重要である。  
（鉄欠乏でも、鉄過剰でもよくない）

以上のような内容で、台風にくる直前の日でしたが、約100人の参加で、明石 西神戸の透析に関わっている施設の医師 看護師 臨床工学技師 薬剤師 栄養士さんが集まり、盛況のうちに終了しました。



内科部長

おはら いちろう  
小原 一郎

**石井病院 平成30年度「防災訓練」を行います**

**実施日時：9月14日（金）14：00～15：00（終了予定）**

病院全館にて、東南海地震を想定した「防災訓練」を実施いたします。

ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

尚、訓練では、患者さまに向けた放送等を行います。職員による訓練のため、患者さまは放送に関係なく、そのまま外来・病室にてお過ごしください。

平成30年度 石井病院


## 防災訓練

病院全館にて、東南海地震を想定した「防災訓練」を実施いたします。ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

9月14日（金）  
14：00～15：00

<患者さまへのお願い>

訓練では、患者さまに向けた放送等を行います。職員による訓練のため、患者さまは放送に関係なく、そのまま病室でお過ごしください。



## 石井病院に明石市の「移動図書館」がやってきます♪ ～ 9月の日程 ～

当院に月に1回、明石市の「移動図書館」が巡回することになりました。  
ご利用対象者は、患者さま、ご家族さま、病院職員です。  
ご利用についての詳細は、受付・ナースステーションに置いてあるリーフレットにてご確認ください。



**日時： 9月14日（金） 14：10～14：55 雨天決行**

**場所： 仁恵会 研修センター 1F通路（石井病院 西隣）**

※ 1人15冊まで、返却は次回訪問日（10/12）となります。



## **じんけいクリニック 臨床工学技士2名が、透析技術認定士試験に合格しました**

当院で臨床工学技士として働き3年目となった今年の5月13日に、透析技術認定士試験を受験し合格しました。受験するにあたり、透析における分野ごとにそれぞれ専門的な内容の講習を受けました。それにより透析における基本的な知識を見つめなおす良い機会となりました。

資格取得の勉強というと、知らないことを学び、出来ないことを取得するイメージがあります。もちろん、それも大切ですが、知っていることを体系的に学ぶことにより、臨床現場での経験と繋がり、頭の中を整理することが出来ました。

透析室における臨床工学技士の仕事は「穿刺」や「透析監視装置の操作・保守」などはもちろんのこと、時には「患者様の質問や相談の話を聞く」など多岐にわたります。

患者様に何か質問されたとき、専門用語で説明が出来たとしても理解されなければ意味がありません。患者様に理解していただく説明が出来るよう、知識の積み重ねが必要です。これからも患者様の為になることを考え、そして自己研鑽に努め、邁進してまいります。



臨床工学技士  
もりやま ひろみち  
**森山 宏通**

平成30年8月透析技術認定士試験に合格し取得することができました。じんけいクリニックに入職してから目標にしていた試験で、専門知識を身につけたいと思い受験しました。この資格は、透析に携わる医療スタッフ（臨床工学技士、看護師、准看護師）のスキルアップを目的にした資格になっています。

腎不全患者様の治療として行われる人工透析では、体液の「老廃物除去」「電解質の調整」「体水分量の調整」などを目的として治療を行う為、さまざまな知識が必要となります。臨床工学技士は、臨床現場で患者様の治療に携わることや、工学的知識をもとに機械保守管理なども行います。透析技術認定士の試験では、それらに必要な知識を再確認することができました。例えば、透析患者様の水分管理も非常に大切で目標体重であるドライウエイト（基準体重）にコントロールできるよう、患者様の体調（心身）を確認しながらアドバイスする事も大切な役割の一つだと考えています。

資格取得に満足せず、患者様により良い透析治療ができるよう、今後も更なる知識・技術の向上に努めたいと思います。



臨床工学技士  
むらまつ ゆうや  
**村松 侑哉**

### ■ 医療連携相談室

TEL 078-918-1512 FAX 078-918-1725  
平日 9：00～12：00 14：00～17：00  
土曜 9：00～12：00  
担当 酒見 古門 上野

### 編集・発行

医療法人社団 仁恵会 石井病院  
〒673-0881 明石市天文町1-5-11  
TEL 078-918-1655 FAX 078-918-1657  
<http://jinkeikai-group.or.jp/ishii/>